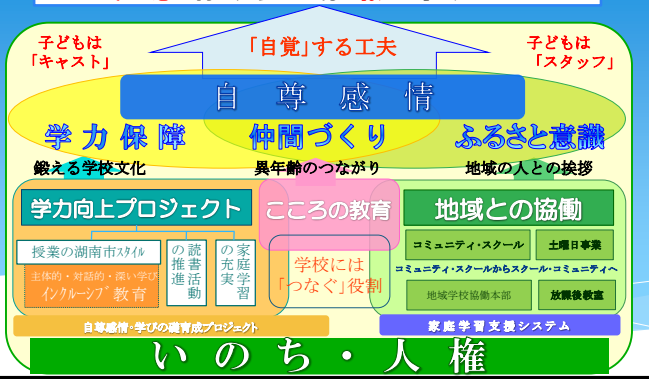
令和3年度「学校を核とした地域力強化プラン」成果報告会

「地域と学校をつなぐ持続可能な体制づくり」に望むもの

湖南市 前教育長　　谷口　茂雄

楽しくて力のつく湖南市教育

～夢と志を育て、「生きる力の根っこ」を太くする～



３５年ぶりの同窓会

○　子どもは必ず成長する

※　子どもは　○○さえあれば　必ず成長する

自尊感情　…　自分もやれば出来る。 自分が好きだ。
自分もまんざらではない

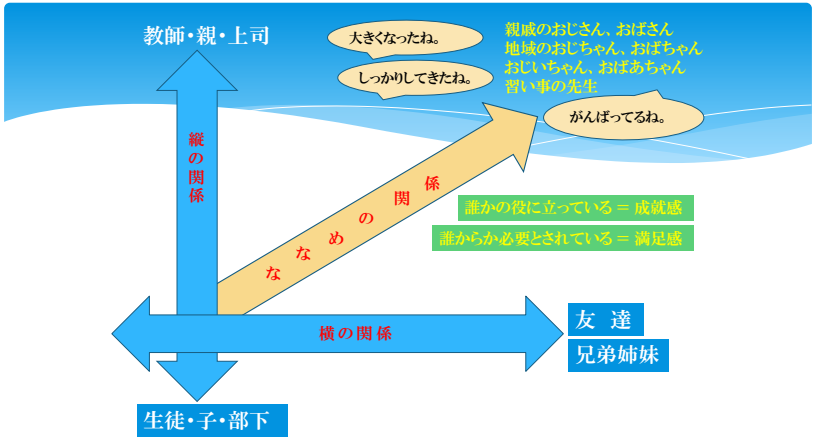
＊仲間がいて、あてにされ、役に立っている実感がある
＊達成感・成就感があるときに、ほめてもらえる
＊ふるさと意識、地元意識　←　顔見知りがある
＊見ていてくれる人がいる　→「プラスの目」で子どもを見る

子どもに自尊感情が育つ、三つの要素

1）学習や仕事の目あてがはっきりしている

2）目あてに向かって進んでいる過程で、
「やったぁ」と思える達成感がある。

3）「やったぁ」と思っているときに、
ほめてくれる大人がいる。



自尊感情の醸成と地域との協働

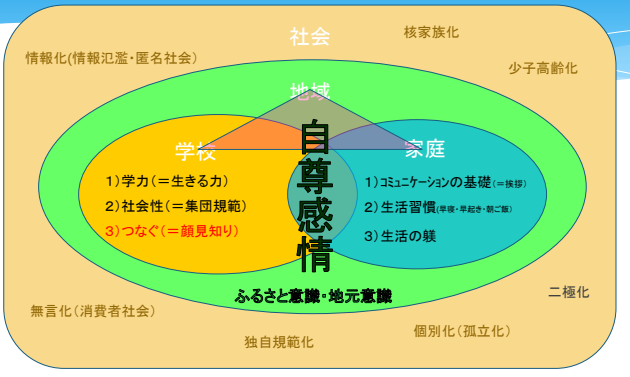
① 学校教育の側面から

- ◆第三の教育改革　→ 教育は、学校の中だけで完結しない
- ◆教師は「風」の人
  地域は「土」の人
- ◆現代の子どもたちは、
  自らの成長にとって有利でない社会
  の中で生活している。

現代社会は、子どもの成長にとって必要な五つの偉大な指導者を失った

1）自然
2）貧困
3）兄弟姉妹
4）ガキ大将
5）祖父母

子どもを取り巻く状況



② 生涯学習社会の側面から

1) 生涯学習の場としての学校

- 「学習成果の活用」による社会参加
- 文化サークルの活動を学校で行う
  学校の運動場で金環日食会を実施する

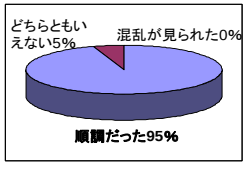
2) 町づくりの中核としての学校

- 子どもと一緒に活動することを通じて、大人同士が顔見知りになる（地域コミュニティの原点）
- 見守りボランティアは、安心安全の町づくりにつながる
- 防災の拠点としての役割

３月１１日を振り返って

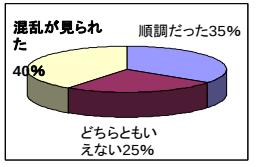
（学校支援システム設置校）

避難所において自治組織が立ち上がる過程は順調だったか。



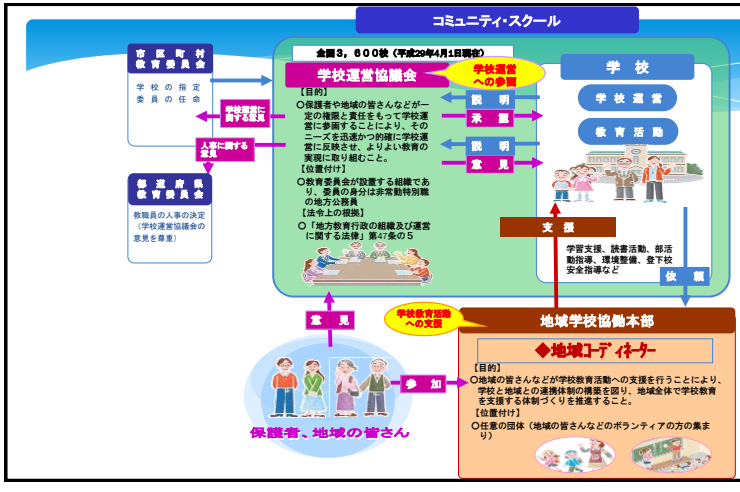
（学校支援システム未設置校）

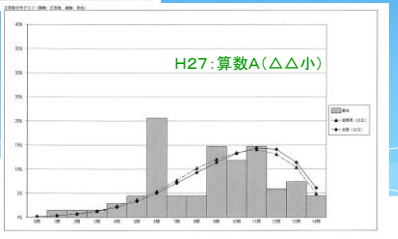
避難所において自治組織が立ち上がる過程は順調だったか。

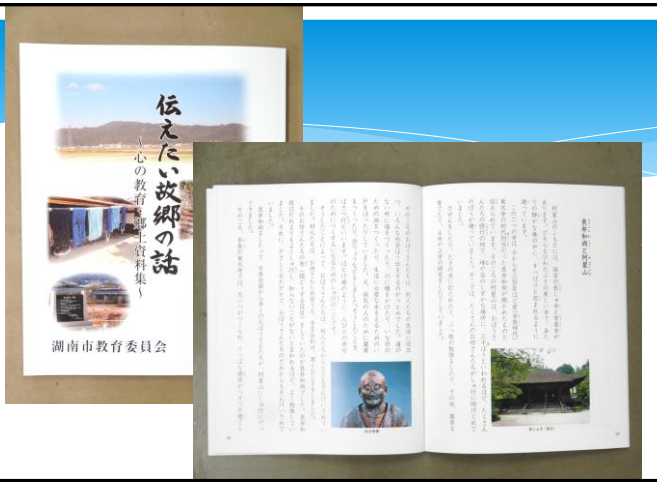


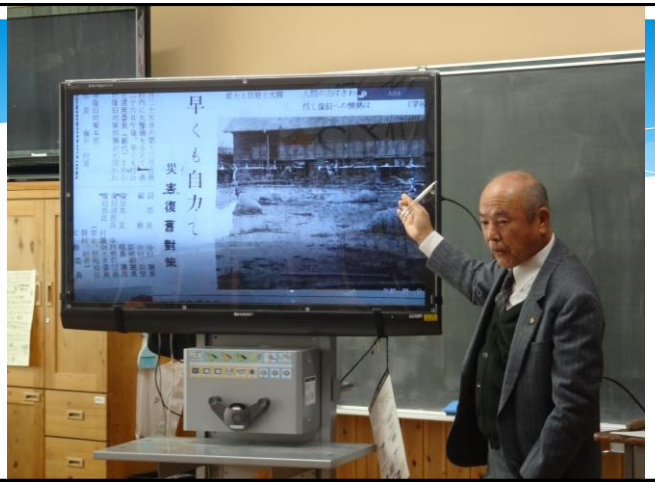
宮城県内公立学校長聞き取り

2011. 5. 26現在（学校支援システム設置校20名，未設置校20名）









地域学校協働本部
（学校応援団）

学校運営協議会
（コミュニティ・スクール）

文部科学省
総合学習政策局　地域学習推進課

滋賀県教育委員会
生涯学習課

市町教育委員会
市町：社会教育・
生涯学習課

市町：学校教育課

湖南市：教育研究所

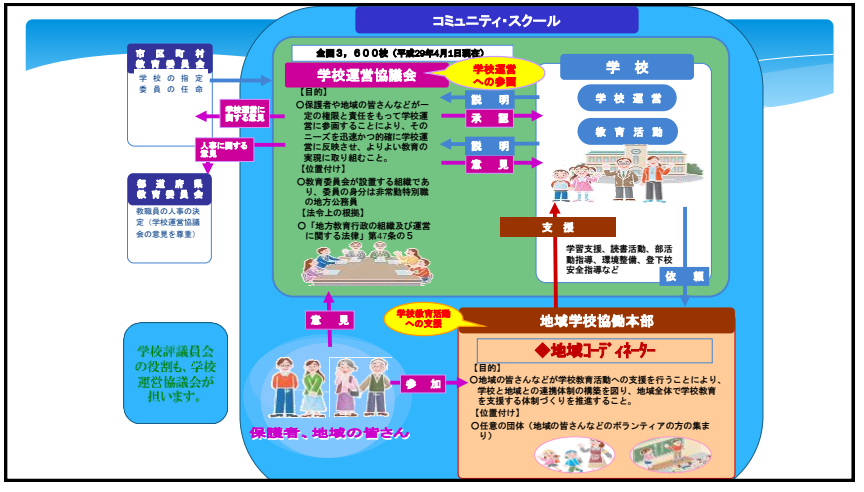
学校評議員制度・学校運営協議会制度・学校支援地域本部の違い

	学校評議員制度	学校運営協議会制度	学校支援地域本部
目的	開かれた学校づくりを一層推進していくため、保護者や地域住民等の意向を反映し、その協力を得るとともに、学校としての説明責任を果たす。	保護者や地域の住民が一定の権限と責任を持って学校運営に参画することにより、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させ、よりよい教育の実現に取り組む。	地域住民が、学校の支援を行うもので、これにより学校と地域との連携体制の構築を図り、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進する。
設置	任意設置	任意設置	任意設置
位置付け	校長が、必要に応じて学校運営に関する保護者や地域の方々の意見を聞くための制度。個人として意見を求めるものであるが、実際の運営上は学校評議員が一堂に会して意見を交換し合う機会を設ける例がみられる。	学校の運営について、教育委員会の下部組織として、一定範囲で法的な効果を持つ意思決定を行う合議制の機関である。	地域住民等のボランティアの集まりで任意団体である。
法令上の根拠	「学校教育法施行規則」第４９条	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第４７条の５	（法的な措置はない）
	平成１２年４月１日施行	平成１６年９月９日施行	
	学校評議員は設置者の判断により、学校に置くことができる。	教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、その指定する学校の運営に関して協議する機関として、当該学校ごとに、学校運営協議会を置くことができるものとする。	

	学校評議員制度	学校運営協議会制度	学校支援地域本部
資格要件等	当該学校の職員以外の者で、教育に関する理解及び識見を有するもの	地域の住民・保護者その他教育委員会が必要と認める者	【地域教育協議会】 ・学校関係者及び地域の代表者（校長や教職員、コーディネーターやボランティア代表、ＰＴＡ関係者、公民館館長等社会教育関係者、自治会等地域の関係者等） 【地域コーディネーター】 ・学校と地域の実情に精通する者で、ボランティアの活動の連絡調整を行う。 【学校支援ボランティア】 ・学校支援活動に参加する地域住民のボランティア （法的な措置はないため、特に資格要件等を定めたものはない。）
任命	校長が推薦し、設置者が委嘱	教育委員会が任命 ＊委員の身分は、非常勤特別職の地方公務員	
主な内容	学校評議員は、校長の求めに応じて、学校運営に関する意見を述べる。 学校評議員に意見を求める事項は、校長が判断する。	以下の具体的な権限を有する。 ①学校の運営に関する基本的な方針について承認する。 ②学校の運営に関して教育委員会又は校長に対し、意見を述べることができる。 ③教職員の採用等に関して任命権者に意見を述べることができ、任命権者はこれを尊重する。	学校管理下の教育活動の支援 【例】 学習支援、部活動指導、校内の環境整備、子どもの安全確保、学校行事等の支援
学校数	全国で36,075校（全公立学校の86.5%）（平成21年3月末日現在） ※類似制度を含む	全国で６２９校（平成22年4月1日現在）	全国２，５２８本部、８，５０７校（平成22年4月現在）

「地域と共に子どもを育てる」湖南市教育の発展

	CS	学校応援団	家庭支援	土曜日事業	地域未来塾
H17	岩根小：研究校				
H19	岩根小：指定				
H20		石部小、岩根小			
H21		菩北小、石南小			
H22		水戸小、菩提小			
H23		三雲小、三東小 下田小	菩提小		
H24	「地域と共に子どもを育てる」湖南市ビジョンを設定				
H25	石南小：研究校	日枝中、 中学校に市費Ｃｏ	菩提小（２） 三雲小		
H26	研究校： 石部小、石部中 菩提小、菩北小	石部中、甲北中 甲西中に市費Ｃｏ	菩提小、三雲小 石部小	石部小、三東小、岩根小、 菩提小、菩北小、下田小 水戸小、甲北中、日枝中、	
H27	指定：石部小、石南小、菩提小、菩北小	研究校： 下田小、日枝中	菩北小	三雲小、	石部中、甲北中 日枝中、
H28	指定：石部中	甲西中		石部小、石南小 三雲小、三東小 岩根小、菩提小 菩北小、下田小 水戸小	甲西中
H29	指定：下田小、日枝中 研究校：水戸小、甲北中				



「地域とともに子どもを育てる」湖南市ビジョン

1）全ての学校が、コミュニティ・スクールへ

【市教育委員会の方針】

＊コミュニティ・スクールでは、理事会組織の設置と子ども育ての課題共有が不可欠のことから、市全体が一気に移行するのではなく、各地域学校協働本部での論議を尊重。

◆地域学校協働本部　9小学校　4中学校　計　13本部

地域学校協働本部に地域コーディネーターを配置

◆コミュニティ・スクール（学校運営協議会理事会　設置校）

令和3年度　全小・中学校で設置完了

甲西中・三雲小・三雲東小の中学校区3校で、

合同の学校運営協議会　設置（令和3年4月）

「地域とともに子どもを育てる」湖南市ビジョン

2）土曜日の教育支援活動を小学校で推進

石部小　三雲小　三雲東小　岩根小　菩提寺小　菩提寺北小　下田小　水戸小

年間10日～20日　　計　小学校9校

3）地域未来塾を中学校で推進

石部中　甲西北中　日枝中　甲西中

年間15日～35日　　計　中学校4校

4）家庭教育支援総合推進事業の推進

菩提寺小　三雲小　石部小　菩提寺北小　　計　4校

家庭教育支援コーディネーターは家庭教育支援員を兼ねる

コミュニティ・スクールとは？

①保護者や地域の住民が学校運営に参画する「学校運営協議会」の置かれた学校

② 役割

ア．校長は、学校運営の「基本方針」の承認を得なければならない

イ．学校運営協議会は、教育委員会や校長に意見を言うことができる

ウ．学校運営協議会は、教職員の任用に関し教育委員会に意見を言うことができる

（教育委員会はその意見を尊重）

コミュニティ・スクールでは

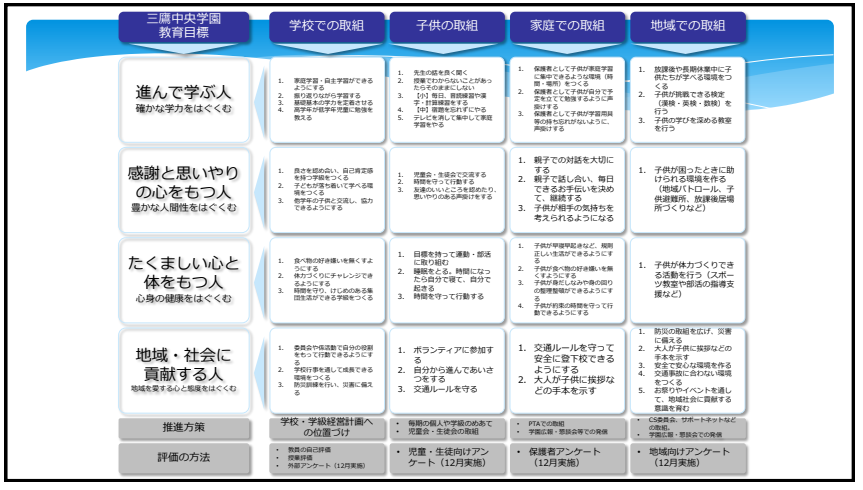
1）「めざす子ども像」を共有する

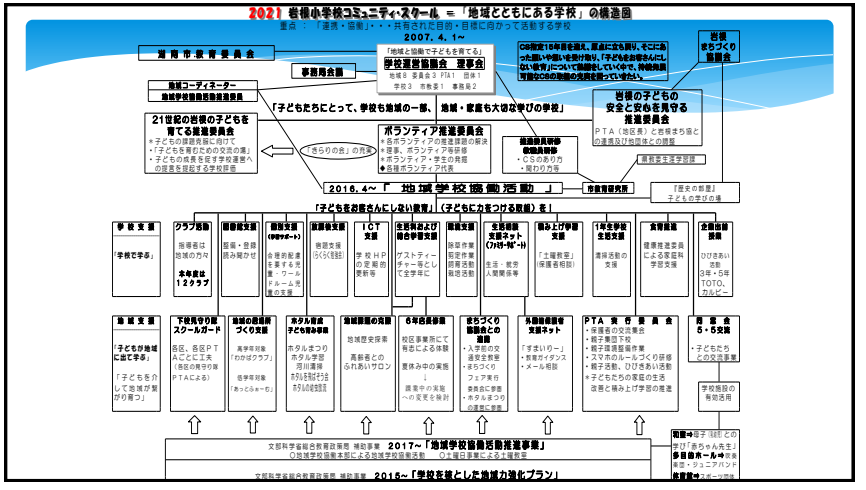
＊10年・15年先を見通して　…P

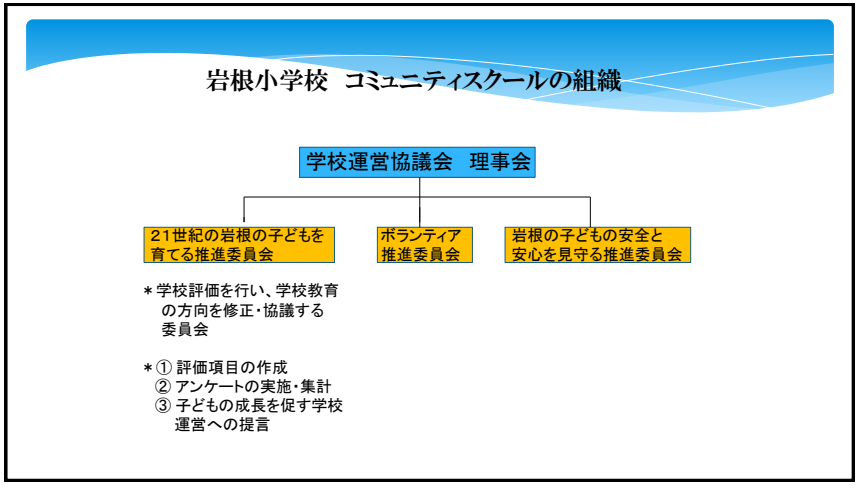
2）「めざす子ども像」を実現するための役割を分担する（分担するための組織をつくる）　…D

3）「めざす子ども像」が実現したかどうかの、評価を共有する　…C

4）「次の一手」を熟議し、役割を分担する　…A







コミュニティスクールへの道筋

1) 地域・学校・保護者で、地域や子どもの長所・短所を熟議する
2) 目指す子ども像を共有する
3) 目指す子ども像を実現するための取組を決定し学校・家庭・地域の役割分担を行う
4) 目指す子ども像が実現しつつあるかどうかの評価方法を決める
5) 組織構造を考え、理事を選出する
6) 規約を決定する
7) 教育委員会にCS指定申請を行う

石部小学校

事務局の部屋があるのが特徴

◆見守りﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ

◆ふるさと石部学遠足

事務局玄関に構造図

◆文化サークルが学校で活動

石部南小学校

学校玄関に取組表示

◆みどりのバトンタッチ

◆金環日食観望会(5/21)

◆見守りﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ

三雲小学校

さまざまな
ボランティア活動

◆庭木剪定ボランティア

◆家庭科ボランティア

◆見守りボランティア

◆田んぼの子ボランティア

◆図書ボランティア

◆昔遊びボランティア

◆掃除ボランティア

三雲東小学校

◆妙感寺で学習

◆校区探検

◆天保義民の学習

◆東小名物、農園ボランティア

◆家庭科学習の先生

◆見守りボランティア

岩根小学校

◆ホタル学習 → ◆ホタル祭り

◆コミュニティスクール：理事会

◆クラブの先生

◆文科省と地域ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰとの意見交換会（北陸・中部・近畿地区）会場 …7／13

◆１年生掃除支援

◆土曜教室

菩提寺小学校

◆菩提寺学

◆郷土の偉人の疑似体験

◆町たんけん

菩提寺北小学校

◆あすなろの家（ハウス）とあすなろスタッフ

◆見守りﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ

◆付き添いﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ

◆ウィンターカーニバル

◆あすなろの家（ハウス）が活動拠点

◆ウッディクラフト（全校図工授業）

下田小学校

なすびーずルーム

◆校区探検

◆下田なすの学習

◆藍染め体験

水戸小学校

◆水戸まつり

◆学習や行事への協力

毛筆教室

茶道クラブ

マラソン大会

石部中学校

◆夏まつり

◆ふれあい祭り：司会

◆納涼祭での演奏

◆老人福祉センターまつり

◆社会を明るくする運動

甲西中学校

「みちくさコンパス・駅での受付」

11月23日(日)・24日(月祝)にみちくさコンパス実行委員会主催(まちぜん感謝デ)のみちくさコンパスが甲東・海道に集合の定員・時社会開催中心に行われました。暖い天気に恵まれ多くの人に参加して頂きました。
これは駅での受付風景です。

◆みちくさコンパス

甲西北中学校

◆共生のつどい

日枝中学校

◆下田ふれあい
餅つき大会

◆水戸まちづくり
フェスタ

子どもはスタッフ
子どもがキャスト

水戸　納涼祭　露店お手伝い

中学生が地域へ出かけたボランティア活動

（1）7月26日（土）近江台模擬店ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ（夏祭りお手伝い）　参加生徒：4名

（2）7月28日（月）小学生学習支援　参加生徒：15名

（3）8月2日（土）、3日（日）あすなろ減災キャンプボランティア　参加生徒：9名

（4）8月25日（月）小学生学習支援　参加生徒：13名

（5）10月11日（土）中学生ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ（ペットボトル製作支援）　参加生徒：60名

（6）11月3日（月）北山台自治区総合防災訓練　参加生徒：14名

（7）11月23日（日）「障がい者週間」啓発活動　参加生徒：21名

（8）11月29日（土）竹林整備作業　参加生徒：23名

（9）12月7日（日）北山台クリスマス会（アート製作補助）　参加生徒：7名

（10）12月7日（日）菩提寺防災講習会　参加生徒：78名

（11）12月13日（日）わくわく年賀状づくり　参加生徒：19名

（12）1月6日（火）書き初め支援　参加生徒：13名

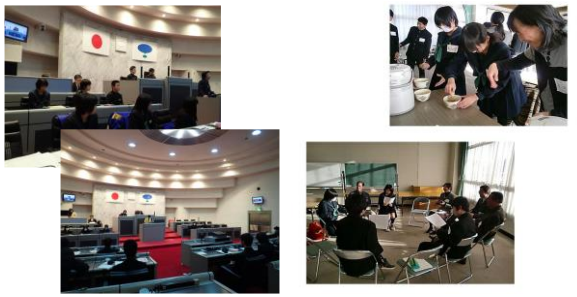
（13）2月7日（土）岩根防災ベンチ設置支援　参加生徒：12名

（14）3月1日（日）正福寺　ともいきの集い　参加生徒：14名

（15）3月7日（土）菩提寺バンブーハウスボランティア　参加生徒：10名

まちづくりへの参画

12月1日（月）～3日（水）において3年生の国語と社会の授業で、「湖南市の中学生として何が出来るか」を議題として湖南市の議場を使わせていただき、役割分担をした上で中学生議会をおこないました。この授業にはまちづくり協議会の皆さんも傍聴していただき、その後中学生とまちづくり協議会の皆さんとの懇談会を持ちました。そこで、27年度には地域の方との清掃活動を実施することが決まりました。



◆観光客を呼ぶまちづくり

○ 八丈岩をライトアップし、告白スポットにする

○ 会場全体を巻き込む夏まつりイベントを創る

○ SNSを利用して、キャラクターと湖南市をPRする

◆定住者を増やすまちづくり

○ 市のSNSアカウントを作り、湖南市の最新情報を発信する

○ 高齢者・障がい者・外国籍の人たちが住みやすいような対応を増やす

中学生が小学生を教える
（小中連携）（中高連携）

中学生が小学生を教える（2）
（小中連携）（中高連携）（地域連携）

美文字教室

中学生が小学生を教える(3)

（小中連携）

中高連携（甲西高校生徒による学習支援）

期日：8月　1日～26日までで　9回、
　　12月24日～26日までで　3回　　合計12回
会場：甲西北中学校
参加生徒（中学生）：合計160名
　　ボランティア高校生64名

土曜日事業（地域大学生によるテスト前学習会）

期日：9月20日～23日までで3回、
　　11月15日、16日の2回、
　　2月21日、22日の2回　　合計7回
会場：甲西北中学校
　参加生徒（中学生）：123名
　　ボランティア大学生 32名

湖南市における地域との連携による教育効果

～管理職へのアンケート結果から～

（1）地域の人と子どもが関わる機会が増え、地域の人が子どもや学校を身近に感じてくれるようになった。
　＊大切なことは、学校運営協議会理事会に諮る。理事長は共同経営者。
　＊地域は校長の学校経営を進める上でのパートナー。

（2）「地域の子どもを育てるのは学校だけではない」という意識が共有でき、効果を実感できてきた。
　＊学校とは違った視点で取組が見られ、より深い学びにつなげられる。
　＊CS理事会で「郷土愛を育む活動」のカリキュラムを作成している学校も。

（3）教職員のみが担っていた業務の一部を地域の方に担って頂くことで「働き方改革」にもつながった。
　＊学習支援員　→　学校支援員

（4）自分の意志で地域行事に参加する子どもが増えてきた。

湖南市における地域との連携・協働による教育効果

＜平成28年度　文部科学省「全国学力・学習状況調査」の結果より＞

○今住んでいる地域の行事に参加していますか
「当てはまる・どちらかというと当てはまる」全国平均より8．8ポイント高い

○近所の人に会ったときは、挨拶をしていますか
「当てはまる」 全国平均より10ポイント、県平均より11．2ポイント高い

○地域の大人（学校や塾、習い事の先生除く）から褒められたことはありますか
「よくある」（児童） 全国・県平均より10ポイント以上高い

○地域の大人（学校や塾、習い事の先生除く）から注意されたり、友達や他の子どもが注意されているのを見たことがありますか
「よくある・ときどきある」全国平均より7．4ポイント高い

○地域の大人（学校や塾、習い事の先生除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり遊んだりすることがありますか
「よくある」（児童） 全国より10．6ポイント高い

コミュニティ・スクールの成果に関する校長の認識

○指定校の校長のコミュニティ・スクール導入の成果認識について、生徒指導上の課題解決が４２．７％、学力向上が３６．２％と回答。
○コミュニティ・スクールとして活動が長い学校のほうが、成果認識が高い傾向。

学校と地域が情報を共有するようになった	９２．６
地域が学校に協力的になった	８７．７
地域と連携した取組が組織的に行えるようになった	８４．０
特色ある学校づくりが進んだ	８３．０
学校に対する保護者や地域の理解が深まった	８２．６
教職員の意識改革が進んだ	７７．４
保護者が学校に協力的になった	６３．８
地域の教育力が上がった	５６．３
地域が活性化した	５１．４
児童生徒の学習意欲が高まった	５０．５
保護者や地域からの苦情が減った	**４６．５**
いじめ・不登校・暴力など生徒指導の課題が解決した	４２．７
児童生徒の学力が向上した	３６．２
家庭の教育力が上がった	３２．８
教職員が子供と向き合う時間が増えた	１９．８

※「当てはまる」+「ある程度当てはまる」の合計 （%）

＜指定年度別成果認識＞

	16+17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
生徒指導課題	**57．6%**	**44．8%**	**52．2%**	38%	41%	44．5%	30%
学力向上課題	**54．6%**	**37．1%**	**41．1%**	37%	31．2%	29．3%	30%

コミュニティ・スクールの成果認識

【短期的成果】
- 学校に対する保護者や地域の理解の深まり
- 学校と地域が情報共有
- 教職員の子供と向き合う時間の増加
- 教職員の意識改革

【中期的成果】
- 保護者・地域による学校支援活動が活発に
- 地域が学校に協力的に
- 学校関係者評価が効果的に実施
- 特色ある学校づくり
- 地域連携の取り組みが効果的に
- 家庭の教育力が向上

【長期的成果】
- 学校が活性化
- 地域が活性化
- 保護者が学校に協力的
- 児童生徒の学力向上
- 生徒指導の課題解決
- 児童生徒の学習意欲向上
- 地域教育力が向上
- 保護者や地域からの苦情が減る
- 適切な教員人事が実現

「平成23年度コミュニティ・スクールの推進に関する教育委員会及び学校における取り組みの成果検証に係る調査研究報告書」
日本大学文理学部

3）今後の課題

① 学校応援団やCSは、子ども育ての手段であることを再確認する
◆ボランティアの参加人数や活動実績でなく、子どもの向上的変容を活動の成果とする
◆自尊感情の醸成で、その成果を確認する

② 学校・家庭・地域の役割分担を明確にし、「まちづくり協議会」との連携を推進する

③ 教職員の研修、及び地域の方々との意思疎通の機会を重視する

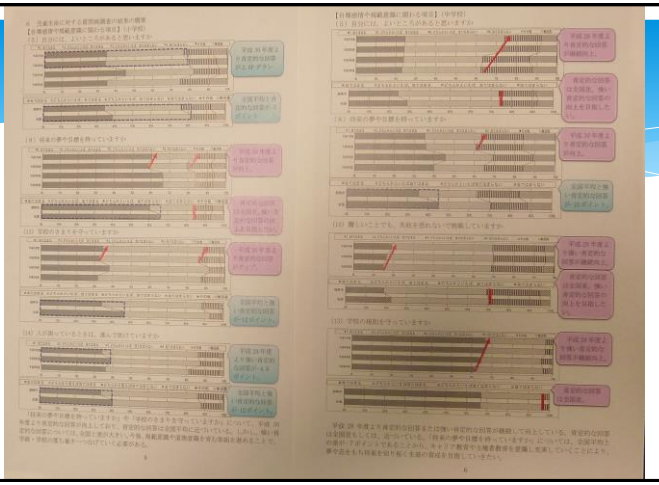
児童生徒に対する質問紙調査の結果の概要　（平成31年度）

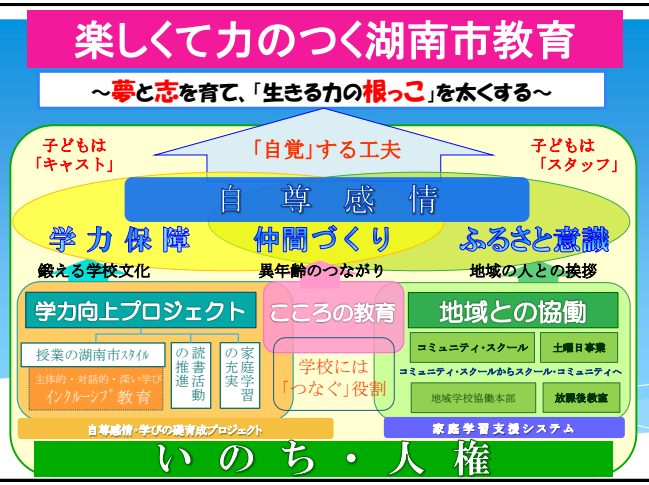
◆小学校

(5)自分には、よいところがあると思いますか
(8)将来の夢や目標を持っていますか
(13)学校のきまりを守っていますか
(14)人が困っているときは、進んで助けていますか

◆中学校

(5)自分には、よいところがあると思いますか
(8)将来の夢や目標を持っていますか
(10)難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか
(13)学校の規則を守っていますか





令和3年度「学校を核とした地域力強化プラン」成果報告会

「地域と学校をつなぐ持続可能な体制づくり」に望むもの

湖南市 前教育長　　谷口　茂雄